

**編集後記**

不幸や災いがふりかかると、人は納得のいく要因や説明・解釈を求めたがる。災因論とよばれるもので、不幸や災いを受けとめ、平常に戻るのに欠かせない文化的しくみだ。一向に不安が解消されない新型コロナウイルス感染症を想起すれば、思い当たるかもしれない。本号の特集「世界の地相術」は、土地や家に吉凶の要因を求める、さまざまな「伝統科学」の深奥な世界を詳らかにしてくれる。そうした民俗知の体系が、地理学や天文学の礎となったという指摘も興味深い。「迷信」とされ、科学的な知識に置き換わった感がある地相や家相が、人びとから再び注目される時代とは、どのような世相を反映するのか。相つながりて、想像を膨らませてみたくもなる。

みんぱくでは、新型コロナウイルス感染症の拡がりをうけ延期していた、梅棹忠夫生誕100年記念企画展「知的生産のフロンティア」を開催している。10月1日からは特別展「先住民の宝」も始まる。この機会にぜひ、みんぱくに足を向けてほしい。6月に立ち上げた2本目のトーテムポールも秋空に輝いている。

(南真木人)

みんぱくをもっと楽しみたい方のために  
**国立民族学博物館友の会のご案内**

友の会は、みんぱくの活動を支援し、博物館を楽しく積極的に活用するためにつくられました。毎月『月刊みんぱく』をお届けするほか、さまざまなサービスをご用意しております。

**維持会員・正会員**

『月刊みんぱく』の送付／友の会機関誌『季刊民族学』の送付／本館展示の無料観覧／特別展観覧料の割引／友の会講演会への参加／研究者同行の国内外研修旅行への参加 など

**ミュージアム会員**

『月刊みんぱく』の送付／本館展示の無料観覧／特別展観覧料の割引／友の会講演会への参加 など

繰り返し入館できる**みんぱくフリーパス**や、学校・学部単位で利用できる**キャンパスメンバーズ**など各種会員種別もご紹介します。目的にあわせてご利用ください。

詳細は、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。  
 (電話 06-6877-8893 / 平日9:00～17:00)



●表紙：台湾、新竹市の廟における「安龍転火」の儀式。弱った龍脈（土地の気脈）に力を与え、運気を好転させている（撮影：河合洋尚、2019年）

次号の予告

特集

**「世界温泉めぐり」(仮)**

月刊みんぱく 2020年10月号

第44巻第10号通巻第517号 2020年10月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館  
 〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1  
 電話 06-6876-2151

発行人 園田直子  
 編集委員 南真木人(編集長) 上羽陽子 齋藤晃  
 菅瀬晶子 三島禎子 吉岡乾  
 デザイン 宮谷一欵 長岡綾子  
 制作・協力 一般財団法人千里文化財団  
 印刷 株式会社 遊文舎

\*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。  
 \*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

みんぱくホームページ

みんぱくフェイスブック  
 みんぱくツイッター  
 みんぱくインスタグラム  
 みんぱくYouTube

<https://www.minpaku.ac.jp/>

<https://www.facebook.com/MINPAKU.official>

<https://twitter.com/MINPAKUofficial>

<https://www.instagram.com/MINPAKUofficial/>

<https://www.youtube.com/user/MINPAKUofficial>

